

技術と経済・2008 年 年間総目次

右の①～⑫は月号、数字はページです。

●特集

◆独自性溢れる事業創造

- 逆転の競争戦略～リーダー企業の強みを弱みにする方法～……………山田 英夫・① 3
コトづくりマーケティングの提言……………今村哲也/伊藤哲郎/吉弘晃/高岡啓吾/顔瑞男・① 15
防錆・防食ネジで世界トップシェア 50% ……………竹中 弘忠・① 31

◆資源と環境問題の大変革を分析

- 21 世紀、資源と環境の制約下における“ものづくり”を問う……………谷口 正次・② 2
日中間における省エネ・環境問題の現状と課題……………原 弘 ・② 17

◆一筋縄ではいかない研究開発から事業化への道筋をたどる

- リコーの経営と技術（イノベーション事例を中心に）……………酒井 清 ・③ 2
光トポグラフィの原理と応用……………牧 敦 ・③ 14

◆科学技術を社会的な価値増殖に活かす

- 産業の競争力とイノベーション……………黒田 昌裕・④ 2
イノベーション・システムにおける産学連携……………原山 優子・④ 20
特定のグローバルマーケットをリードする化学会社へ……………太和田善久・④ 26

◆最近の経営研究から～ ICT が促すビジネスイノベーション/原油価格高騰をめぐる動向

- ICT により促すビジネス・イノベーション……………中島 洋 ・⑤ 2
原油価格の高騰と今後の動向……………岩間 剛一・⑤ 19

◆今の時代を洞察する

- 時代を見る目—なぜいま情報技術なのか?—……………原島 博 ・⑥ 2
航空機の整備方式とヒューマンファクターへの取り組み……………日吉 和彦・⑥ 16
半導体切断装置で世界シェア 70%……………溝呂木 斉・⑥ 23

◆オープンイノベーションをめぐる新たな視点

- 富士通研究所のイノベーション……………村野 和雄・⑦ 2
オープン・イノベーション時代の技術戦略……………長谷川克也・⑦ 11

◆イノベティブな現場が社会を変える

- イノベーションと知識経営～創造サイクルの到来と新たなエクセレンス～……………紺野 登 ・⑧ 2
東京電力における火力発電設備の高効率化に向けた取り組みについて……………佐野 敏弘・⑧ 17
大田区のものづくり環境と取り組み……………佐山 行宏・⑧ 22

◆技術の発展と研究マネジメント

- 技術の発展と研究マネジメント……………所 眞理雄・⑨ 2

◆創刊 500 号記念特集 これからの我が国産業界の進むべき道

- 「技術と経済」創刊 500 号に寄せて……………金井 務 ・⑩ 2
《座談会》産業界を中心にこれからの我が国の進むべき道……………⑩ 4
河村 壮一/篠塚 勝正/広崎膨太郎/前田 忠昭/松崎 昭/山本森一郎/太田健一郎

《特別寄稿》

- 日立はすべてを地球のために……………川上 潤三・⑩ 27
明日の企業価値を考える……………西村 憲一・⑩ 28

これからのストック型社会のコア技術……………梅田 靖 ・⑩ 29
 町工場に励ましを……………橋本 久義 ・⑩ 30
 日本企業の国際競争力強化へ向けて……………山田 幸 ・⑩ 32
 社会と個人の切実なニーズに直接応える商品とサービスを産業に……………渡辺 誠一 ・⑩ 34
 これからの我が国産業界の進むべき道……………児玉 文雄 ・⑩ 35

◆技術の変革が構造改革を求める

デジタル家電における標準化と MOT について……………榎木 好明 ・⑪ 2

◆サービスのイノベーションに向けて

フラット化する世界とサービス・イノベーション……………丸山 力 ・⑫ 2

●寄稿・特別講演録・インタビュー

特許改正に揺れるインド製薬産業……………三森八重子 ・② 26
 日中間における省エネ・環境問題の現状と課題……………藤原 弘 ・② 17
 《続・私の見聞記》中国製造業の躍進と日本のものづくりへの懸念……………中川 威雄 ・③ 24
 文明の発展と紙の役割についての歴史的考察（抄録）……………植地 勢作 ・③ 38
 イノベーション・システムにおける産学連携……………原山 優子 ・④ 20
 アニマルパスウェイの研究とその意義……………大竹 公一 ・⑦ 26
 地球温暖化問題対処に向けた国際的取組の概要と洞爺湖サミット……………亀山 康子 ・⑨ 14
 植物ゲノム研究最前線—遺伝子組換えアレルギーからの脱却を—……………佐々木卓治 ・⑨ 44
 グローバルリテラーとしての製造工程（サプライチェーン）の説明責任……………上山 静一 ・⑩ 54
 産業競争力強化と地域活性化……………黒岩 進 ・⑩ 62
 これからの日本の宇宙開発—いかにフルセットを活用するか—……………西田 幸彦 ・⑫ 45

●連載・講演録他

◆アジアの創業事情……………増田 辰弘
 10年がかりでベトナムビジネスを攻略した三谷産業……………① 40
 天津で熊野の化粧筆を独自の生産システムで構築……………② 35
 チャイナリスクが顕在化した日本企業乗っ取り事件……………③ 33
 タイで2つの日・タイの官民プロジェクトが同時スタート……………④ 40
 ベトナムにリース工場の経営から入った—アイ電子工業……………⑤ 32
 日本人の多様なライフプランを支援するロングステイビジネス……………⑥ 38
 ゴルフ手袋をタイの北部で製造する山蔵産業……………⑦ 38
 中国・昆明市に開業した本格的な高級温泉リゾート……………⑧ 42
 新しい中国進出のインキュベーター—蘇州日本工業村……………⑨ 41
 43年の年輪が教える日本企業の韓国ビジネス……………⑩ 72
 中国で急増する日本間への需要に対応させ新日本建材館……………⑪ 40
 住宅用鉄筋本数などの生産加工図面作成をベトナムへ移管……………⑫ 24

◆発明文化論……………丸山 亮
 医薬の発明と特許……………① 39
 技術の秘匿と組合……………② 38
 南方熊楠……………③ 48
 人形芝居……………④ 57
 ハワイ島……………⑤ 35
 病と医療……………⑥ 37
 先住民の権利と商標……………⑦ 37
 大田南畝……………⑧ 45
 インドネシア更紗……………⑨ 25
 教育の力……………⑩ 37
 フーガの技法……………⑪ 17

音楽の伝承	⑫	19
◆身近にあるバイオ		
メタン発酵は微生物の共同体	①	43
燃料電池いろいろ その1ーバイオ燃料電池	②	49
燃料電池いろいろ その2ー微生物燃料電池	③	49
ゲノムの大きさ、生命のしたたかさ	④	61
備えあれば憂いなし	⑤	41
過ぎたるは…やはり迷惑?	⑥	41
ストレスの定量化	⑦	41
素質と努力	⑧	49
資源確保の戦略	⑨	49
身体の中のバイオリアクター	⑩	75
光るタンパク質	⑪	33
青いバラを可能にする	⑫	58
◆未来工研コーナー		
独創を育む研究環境の実態を探る方法の試行	小松 正和	① 54
日本の科学技術構造の変化	平澤 雅彦	② 40
中小事業者こそ、ブロードバンド	片瀬 和子	③ 50
思い出コミュニケーションによる 20 世紀の食の記憶探索	上野 伸子	④ 58
未来工学研究を考える	長谷川洋作	⑤ 36
知的財産権と研究の自由に関わる問題	山形 敏男	⑥ 42
産業界における技術系人材の課題	菊田 隆	⑦ 55
オリンピックと身体の未来	和田 雄志	⑧ 46
映像人材のこれから	森 康子	⑨ 60
科学技術者の年齢構成の今後の変化と日本の対応	依田 達郎	⑩ 76
社会問題の改善に向けた科学技術システムの構築について	大竹 裕之	⑪ 43
EU 加盟国における電磁界規制の現状	本間 純一	⑫ 54
◆日本 MOT 学会による査読論文		
コア技術の集中分散と組織化把握のための定量的評価手法	西村 拓/鈴木 潤/児玉 文雄	① 58
補助人工心臓の社会経済的妥当性の評価手法と適用	中野 壮陸/藤本 哲男	② 44
日本企業の特許出願戦略	中村 幸子/京本 直樹	③ 55
携帯電話端末機器産業の技術戦略分析	阿部 剛士/辻本 将晴	④ 62
《俯瞰論文》望ましい社会を創る MOT	渡辺 誠一	⑤ 42
日本・ベトナム間における技術移転・産学連携に対する認識の相違に関する研究	樋口 壮人/田中 義敏	⑥ 46
日本の技術者の能力低下要因と対応	可部 明克	⑧ 57
大学発ベンチャー企業と外国人科学技術人材	安田 聡子	⑩ 79
経営革新を促す組織能力に関する研究	作田 稔/長田 洋	⑪ 50
◆技経会コーナー (講演録)		
逆転の競争戦略～リーダー企業の強みを弱みにする方法～	山田 英夫	① 3
21 世紀、資源と環境の制約下における“ものづくり”を問う	谷口 正次	② 2
リコーの経営と技術 (イノベーション事例を中心に)	酒井 清	③ 2
産業の競争力とイノベーション	黒田 昌裕	④ 2
ICT により促すビジネス・イノベーション	中島 洋	⑤ 2
時代を見る目～なぜいま情報技術なのか?～	原島 博	⑥ 2
富士通研究所のイノベーション	村野 和雄	⑦ 2
オープン・イノベーション時代の技術戦略	長谷川克也	⑦ 11
イノベーションと知識経営～創造サイクルの到来と新たなエクセレンス～	紺野 登	⑧ 2
技術の発展と研究マネジメント	所 眞理雄	⑨ 2
デジタル家電における標準化と MOT について	櫛木 好明	⑪ 2
フラット化する世界とサービス・イノベーション	丸山 力	⑫ 2

◆明経会講演録

自動車の安全対策……………田中 宏明・④ 44
 原油価格の高騰と今後の動向……………岩間 剛一・⑤ 19

◆技術競争戦略研究会講演録

防錆・防食ネジで世界トップシェア 50%……………竹中 弘忠・① 31
 光トポグラフィの原理と応用……………牧 敦 ・③ 14
 特定のグローバルマーケットをリードする化学会社へ……………太和田善久・④ 26
 半導体切断装置で世界シェア 70%……………溝呂木 齊・⑥ 23
 この会社は高い成長のまま、なぜ 10 年以上も快進撃が続くのか……………坂本 光司・⑦ 42
 大田区のものづくり環境と取り組み……………佐山 行宏・⑧ 22
 試験用テレビ信号発生器で国内 90%のシェア……………深川 喜男・⑨ 50
 創造業へ向けて……………六本木信幸・⑫ 23

◆メンテ研コーナー

光アクセス網技術の動向～光 3000 万⁺アクセス実現に向けての取り組み～……………山内 修 ・① 44
 情報セキュリティ、安全と安心のために……………松江 芳夫・④ 53
 航空機の整備方式とヒューマンファクターへの取り組み……………日吉 和彦・⑥ 16
 東京電力における火力発電設備の高効率化に向けた取り組みについて……………佐野 敏弘・⑧ 17
 リニア地下鉄の現状と課題……………渡辺 典秋・⑩ 46
 JR 東日本の人材育成……………塩田 浩二・⑪ 34

◆技術予測シンポジウム講演録

迫りくる食糧争奪～日本の食が世界から取り残される～……………柴田 明夫・⑧ 30
 日本列島の地震動の最新研究と構造物に与える影響……………入倉孝次郎・⑨ 26
 インターネットが変わる破壊的トレンド……………渡辺 弘美・⑩ 38
 発展する脳科学の現状と行方……………植田 一博・⑪ 18
 未来洞察から見てきた 10 年後の社会技術問題……………鷲田 祐一・⑫ 32

◆ JATES コーナー

新年のご挨拶……………金井 務 ・① 2
 JATES 創立 40 年を顧みて (付録)……………藤岡 宏衛・① 62
 米国 IRI 年次総会とその活動……………太田 健一郎・⑧ 50
 第 42 回通常総会議事模様……………⑦ 64
 技術経営会議第 69 回本会議議事模様……………⑪ 58

●書評

老いてゆくアジア……………田子島 一郎・① 76
 欲望する脳……………田子島 一郎・② 50
 サブプライム問題とは何か……………田子島 一郎・③ 61
 アメリカ下層教育現場……………大谷 卓史・③ 62
 「痴呆老人」は何を見ているか……………田子島 一郎・④ 68
 中国の環境問題 今何が起きているのか……………大谷 卓史・④ 69
 アラブの大富豪……………田子島 一郎・⑤ 48
 アメリカの世界戦略……………田子島 一郎・⑥ 52
 個人データ保護……………大谷 卓史・⑥ 53
 疑似科学入門……………田子島 一郎・⑦ 59
 傷つきやすくなった世界で……………田子島 一郎・⑧ 65
 超訳『資本論』……………田子島 一郎・⑨ 73
 日本人はどこまで減るか……………田子島 一郎・⑪ 64
 iPod は何を変えたのか?……………大谷 卓史・⑪ 65
 すべての経済はバブルに通じる……………田子島 一郎・⑫ 59
 テロの経済学 人はなぜテロリストになるの……………大谷 卓史・⑫ 60
 きちんとした日本語がいい人生をつくる……………桑原 創 ・⑫ 61